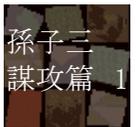


そんし ぼうこうへん
孫子「謀攻篇」



9 孫子曰わく、凡そ用兵の法は、国を全うするを上と為し、国を破るはこれに次ぐ。

軍を全うするを上と為し、軍を破るはこれに次ぐ。旅を全うするを上と為し、旅を破るはこれに次ぐ。卒を全うするを上と為し、卒を破るはこれに次ぐ。伍を全うするを上と為し、伍を破るはこれに次ぐ。是の故に百戦百勝は善の善なる者に非ざるなり。戦わずして人の兵を屈するは善の善なる者なり。

10 故に上兵は謀を伐つ。

其の次ぎは交を伐つ。其の次ぎは兵を伐つ。其の下は城を攻む。攻城の法は己むを得ざるが為めなり。櫓・輜輳を修め、器械を具うること、三月にして後に成る。距闔又た三月にして後に已わる。将 其の忿りに勝えずしてこれに蟻附すれば、士卒の三分の一を殺して而も城の抜けざるは、此れ攻の災なり。故に善く兵を用うる者は、人の兵を屈するも而も戦うに非ざるなり。人の城を抜くも而も攻むるに非ざるなり。人の国を毀るも而も久しきに非ざるなり。必らず全きを以て天下に争う。故に兵頓れずして利全くすべし。此れ謀攻の法なり。

11

故に用兵の法は、十なれば則ちこれを囲み、五なれば則ちこれを攻め、倍すれば則ちこれを分かち、敵すれば則能ちこれと戦い、少なければ則能ちこれを逃れ、若かざれば則能ちこれを避く。

故に小敵の堅は大敵の擒なり。

12

夫れ将は国の輔なり。

輔 周なれば則ち国必らず強く、輔 隙あれば則ち国必らず弱し。故に君の軍に患うる所以の者には三あり。軍の進むべからざるを知らずして、これに進めと謂い、軍の退くべからざるを知らずして、これに退けと謂う。是れを軍を糜すと謂う、三軍の事を知らずして三軍の政を同じうすれば、則ち軍士惑う。三軍の権を知らずして三軍の任を同じうすれば、則ち軍士疑う。三軍既に惑い且つ疑うときは、則ち諸侯の難至る。是れを軍を乱して勝を引くと謂う。

13

故に勝を知るに五あり。

戦たたかうべきと戦たたかうべからざるとを知る者ものは勝かつ。衆寡しゅうがの用ようを識しる者ものは勝かつ。上下しやうがの欲よくを同じうする者ものは勝かつ。
虞ぐを以もつて不虞ふぐを待まつ者ものは勝かつ。将しょうの能のうにして君きみの御ぎよせざる者ものは勝かつ。此この五者ごしやは勝しょうを知るの道みちなり。故ゆえに曰いわ
く、彼かれを知しりて己おのれを知しれば、百戦ひやくせんして殆あやうからず。彼かれを知らずして己おのれを知しれば、一勝一負いつしょういつふす。彼か
れを知らず己おのれを知らざれば、戦たたかう毎ごとに必かならず殆あやうし。